

4.2 植生調査

4.2.1 ヨシ類（干潮面以上）

(1) 調査方法

北池、西池、南池全体において、満潮面（HWL）以上範囲におけるヨシ類の分布状況を把握した。

ヨシ類の分布範囲・被度は、「4.1 無人航空機（UAV：Unmanned Aerial Vehicle）を用いた写真測量」で撮影した画像から、ヨシ類の分布状況を把握したうえで、北池、西池、南池全体において、干潮面以上の範囲におけるヨシ類の草丈（低、中、高）に応じて、分布状況を踏査により把握した。ヨシ類の草丈区分は、現地の状況を踏まえ、草丈1.2m以下を「低」、草丈1.2～1.8mを「中」、草丈1.8m以上を「高」とした。

試料は、別途研究が進められているヨシ類の炭素固定・吸収量の算定に活用するため、草丈（低、中、高）に応じて、1箇所ずつ、計3箇所でコドラート（50cm×50cm枠）を設置し、枠内のヨシ類の地上部を採取した。採取にあたっては、コドラートの設置位置をGPS及び写真により記録した。採取した試料は、コドラートごとにすべての本数を計測し、ランダムで20本を抽出した後に、図 4-13に示す茎長、茎径（根本・先端）を計測した。

採取した試料は、関係者との協議により、南港野鳥園展望塔の研究室に保管した。

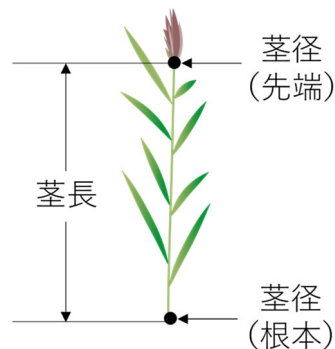


図 4-13 ヨシ類測定箇所

(3) 調査結果

1) ヨシ類の分布面積

踏査によるヨシ類の分布範囲の結果を図 4-15に、面積の集計結果を表 4-3に示す。

ヨシ類の分布面積は、合計で1.913haであった。草丈区分「低」の分布面積は、0.897haと最も多く、北池、西池で確認された。草丈区分「中」の分布面積は、0.570haであり、北池、西池で確認された。草丈区分「高」の分布面積は、0.449haと最も少なく、主に南池で確認された。

表 4-3 ヨシ類分布面積

草丈区分	草丈	面積 (ha)
低	1.2m 以下	0.897
中	1.2～1.8m	0.570
高	1.8m 以上	0.446
合計		1.913

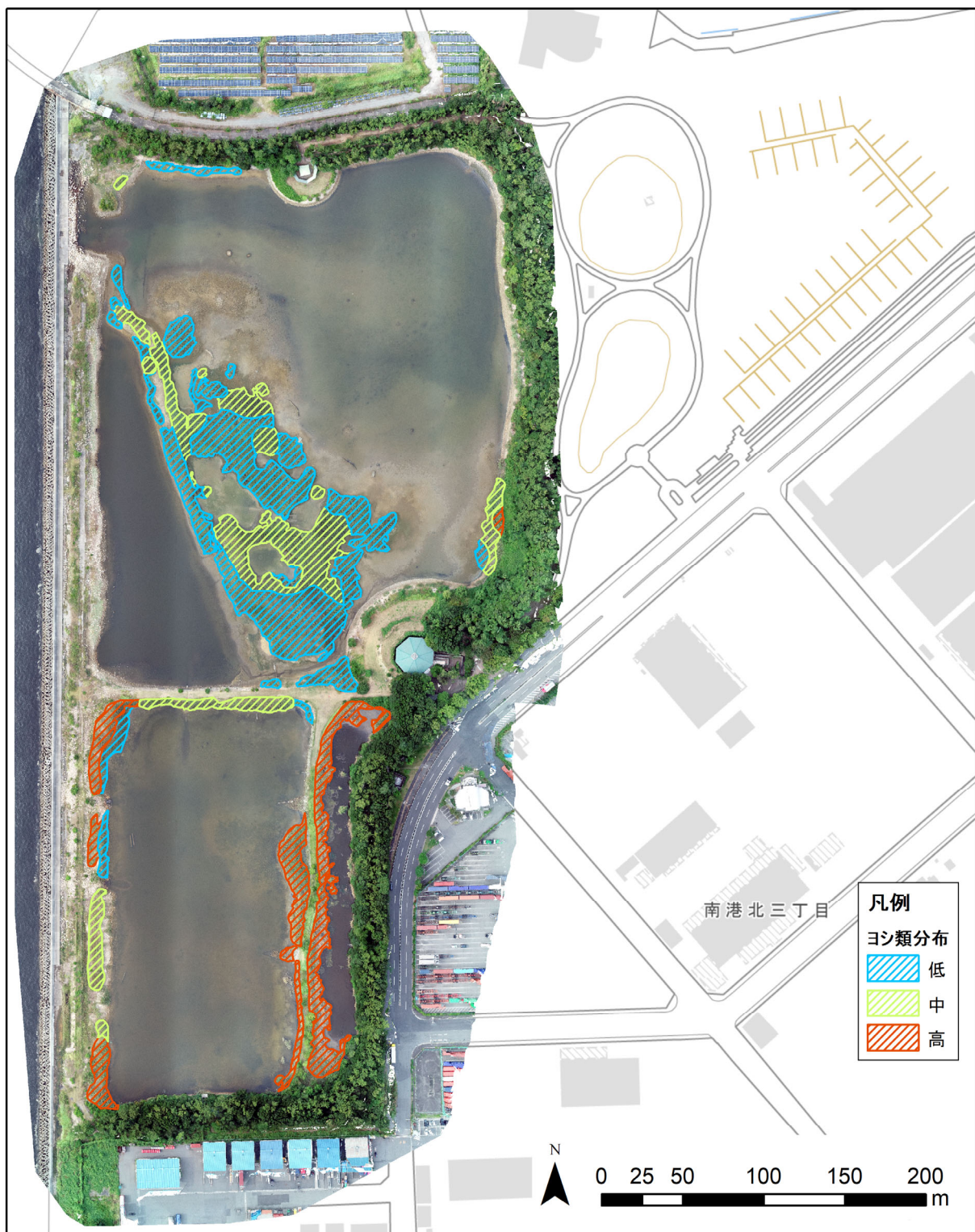


図 4-15 ヨシ類の分布範囲